

いわよし さと ほぞんかい
祝吉ホタルの里保存会

設立目的

ホタルの生息地として知られる祝吉ホタルの里の水生生物、植物の研究保存、堤防等周辺環境の良好な保全と地区民の憩いの場所づくりを目的とする。

基本情報

- 団体名
祝吉ホタルの里保存会
- 代表者
大山 竹文
- 設立
平成 20 年 4 月
- 事務局
鍋倉 誠
- 住所
都城市郡元 4 丁目 4-25
- 電話
0986-21-3518
- FAX
0986-21-3518
- 活動エリア
都城市祝吉地区
- 団体構成
総人数：32 名
(男性 32 名、女性 0 名)

活動内容

- 清掃活動 年 3 回 3 月、9 月、1 月
- 水質検査 年 1 回 5 月
- 研修会 年 1 回 4 月
- カワニナの放流 状況に応じて
- ホタルの個体調査 5 月 5 日、15 日、25 日、6 月 5 日
- ホタルの発生状況 上流 下流に多く発生 700 頭前後
- ホタル観察会 5 月中旬
- 8 月 祝吉中学校 1 年生によるボランティア活動
※ホタル水路ゴミ拾い活動



定期的な調査を行うことで、ホタルの最盛期や発生場所が明らかになりつつある。年間の水質データや周辺環境の情報も蓄積できている。また、ホタルの里を清掃保持することにより、他の生態系の保全にもつながっている。

水利組合、淡水漁業組合、まちづくり協議会等、地区民と共同作業することで、地域との良好な絆が形成されている。

都城市のホタル個体調査のモデルとなることが期待されていると思われます。

近年は、県外、鹿児島や曾於市、宮崎市からのホタルの発生状況の問い合わせも多く、沢山の方に観察していただいています。

表彰歴

平成 22 年 2 月 13 日
「ふるさとの川」ワークショップ都城地区において、「成果を期待していますで賞」受賞

活動の様子

